

虎谷秀穂教授に日本セラミックス協会より学術賞

当研究センター・解析設計研究部門・解析システム研究グループの虎谷秀穂教授は、「放射光および実験室系X線を用いたセラミックス材料の精密構造解析」に関する研究業績により、平成12年度日本セラミックス協会学術賞を受賞した。同氏の研究は、放射光によって得られる高分解能粉末回折データを用い、従来定量性の高い解析が困難であると考えられていた粉末回折法を用いて精密な結晶構造解析を可能にしたものであり、その研究は放

射光用多連装計数装置等の装置開発から、パターン分解法などの解析アルゴリズムの開発、およびそれら手法の応用によるセラミックス材料の未知結晶構造解析ならびに構造精密化と多岐にわたる。表彰式は平成13年5月18日、東海大学交友会館（東京都千代田区）にて開催された第76回日本セラミックス協会通常総会の席上にて行われ、同氏に表彰状および記念メダル（写真）が授与された。

